

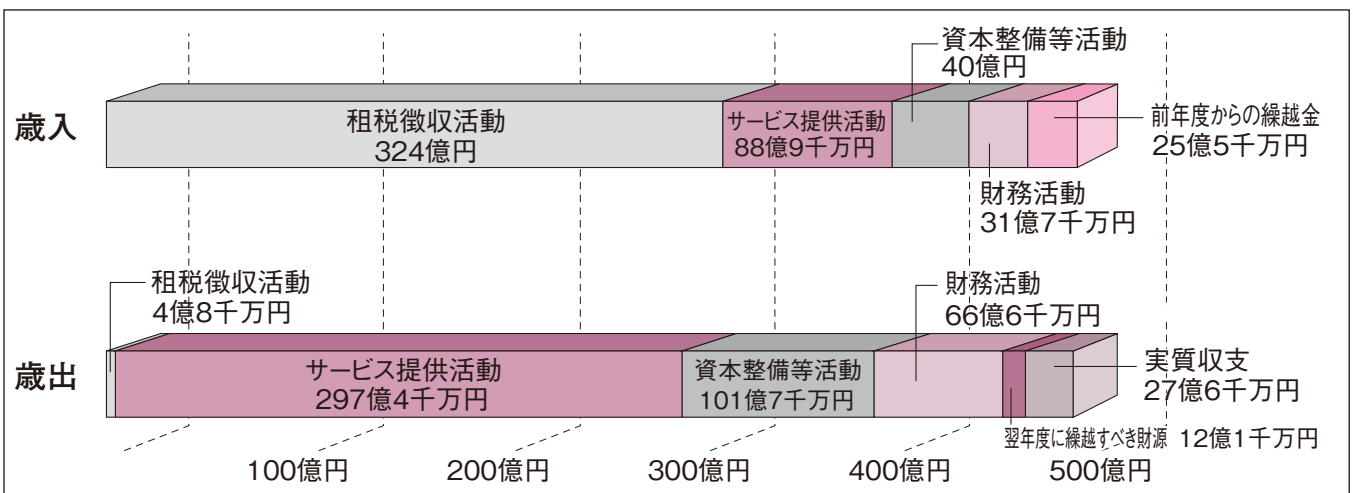
# キャッシュフロー計算書



## 資金の使い道や調達先がわかります

市のお金(キャッシュ)の流れ(フロー)をそれぞれ内容ごとに分けたもので、今年度の資金のやりくりはどうか、自由に使える資金(投資活動に使える資金)はどのくらいあるのかを見るため、租税徴収活動、サービス提供活動、資本整備等活動、財務活動の4つに区分して、資金収支のバランスを一覧表にしたものです。

### ●平成19年度キャッシュフロー計算書



### ●市民1人あたりのキャッシュフロー計算書

人口 94,572人(H20.3.31現在) (単位:円)

	支出の部	収入の部
租税徴収活動	5,084	342,579
サービス提供活動	314,472	94,049
資本整備活動	107,563	42,371
行政活動	427,119	478,999
財務活動	70,434	33,565
総括	支出合計 497,553	収入合計 512,564
	収支差額合計	15,011
	前年度からの繰越金	26,965
	形式収支	41,976
	翌年度に繰り越すべき財源	12,797
	実質収支	29,178

収支は  
いずれも黒字に

キャッシュフロー計算書を読む

年度内のお金の流れを4つの活動別に区分して表しており、「租税徴収活動」などの資金で「サービス提供活動」などの支出分が賄えていることがポイントです。

また、「財務活動」では、新たな借金をするよりも、返済の方が多い、借金を減らしていることが分かります。

なお、形式収支(収支差額+前年度繰越)、実質収支(形式収支+翌年度繰越)とも黒字となっています。

高山市の発展を持続していくために…

## 積極的に行革を進めます

少子・高齢化対策、産業の活性化、子どもの教育環境の整備や安全対策など、今後行政需要はますます増える一方、一段と財源の確保が厳しい見通しとなっています。

市では、形式収支、実質収支ともに黒字の健全な行財政運営を行っています。今後も引き続き次代を担う子どもたちに「やさしさと活力あふれるまち」を引き継ぐため、市民みなさんのご理解をいただき、行政改革を積極的に推進していきます。

問合せ先 財政課 ☎35-3132